

2011年度 一般入試第一次試験
学部・学科別使用試験問題一覧および正誤表

試験日	学部・学科等	使用試験問題
2月 7日(月)	経済学部(経営学科)	5英語、5日本史、5世界史、5数学、8国語

<訂正>

実施日	試験問題	訂正箇所	誤	正
2月7日	5日本史	P.14 問11 2行目	信任統治	信託統治
		P.11 4 (G) 下から2行目	要項	要綱
		P.12 4 問1 ①	岩槻	若槻

(2011年度)

5 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は15ページ, 4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで, 問題冊子を開いてはならない。
2. 携帯電話・PHSの電源は切ること。
3. 試験開始前に, 監督から指示があったら, 解答用紙の右上の番号が自分の受験番号かどうかを確認し, 氏名を記入すること。次に, 解答用紙の右側のミシン目にそって, きれいに折り曲げてから, 受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し, 机の上に置くこと。
4. 監督から試験開始の合図があったら, この問題冊子が, 上に記したページ数どおりそろっているかどうか確かめること。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで, そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. 筆記具は, HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能, 計算機能, 辞書機能などを使用してはならない。
7. マークをするとき, 枠からはみ出したり, 枠のなかに白い部分を残したり, 文字や番号, 枠などに○や×をつけたりしてはならない。
8. 訂正する場合は, 消しゴムでていねいに消すこと。消しきらずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり, 破ったりしてはならない。採点が不可能になる。
10. 試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 弥生時代に関連する以下の文章を読んで後の設問に答えなさい。ただし、文中の下線部の語句については、歴史的に誤ったものが含まれているので注意すること。

日本では縄文文化^(A)が^(ア)ほぼ5000年も続いたと考えられる一方、東アジアでは中国北部の黄河^(イ)の流域でヒエやムギ^(ウ)を主体とする農耕が始まり、南部の長江^(エ)の下流域では稲作も確認される。これは、紀元前6世紀前後と考えられている。中国では紀元前6世紀ごろには鉄器^(オ)の使用も認められ、いわゆる春秋・戦国時代^(カ)から三国時代にかけてそうした文化が、中国東北部^(キ)から樺太を経由して日本にも伝播してきた。

紀元前4世紀ともなると、西日本で陸稲栽培^(ク)を中心とする弥生文化が形成され暫時、東日本にも広まったが、関東以北^(ケ)や南西諸島^(コ)においてはやや異なった文化^(B)が形成されていたと思われる。前述したように、弥生文化では陸稲栽培^(ク)を基本としつつ鉄や青銅の金属器も使われていた。青銅は銅と錫の合金^(サ)で一般には鉄器よりかなり早く出現する例が世界史的には多いが、弥生文化では鉄器と青銅器^(シ)はほぼ同時期に確認され、この文化の生成を考える上での一つの手がかりとなっている。他方、金属器のほか石斧や磨製石器^(ス)の一種である石包丁などに特色がみられ、土器類も前代の縄文土器に替わって弥生土器^(C)が登場してくる。

土器造りの技術などを見ていると、縄文時代の技術を継承している面もみうけられるが、各地で発掘された弥生人骨の特徴を縄文人骨と比較すると、前者は縄文人よりも短身^(セ)であったと考えられ、容貌は丸顔^(ソ)で比較的起伏の少ない^(タ)ものだったと結論されている。

この時代の水田は、すでに本格的なものであったと考えられ、田植え^(チ)もすでに始まっていたとされる。農具は一般的には刃先まで木製^(ツ)であり、石包丁による穂首刈り^(テ)が、脱穀には木製の臼と豎杵^(ト)が用いられた。前期は乾田^(チ)が主流であったが、後には湿田^(ニ)も開発された一方で、狩猟^(ス)や漁労^(セ)も盛んであったらしい。

住居は前代からの横穴住居^(ネ)が普及していたが、農耕の生産性が上昇するにつれて大規模な集落も出現し、掘立柱^(ノ)による高床倉庫なども貯蔵のためにつくられるようになり、大規模な濠や土塁をめぐらしたいわゆる土濠集落^(ハ)もあらわれた。死

者の埋葬については、集落から距離をおいた共同墓地が利用されたようで、木棺墓や箱式石棺墓などに屈葬された例が多い。一部の地方では支石墓も確認され、大型の甕棺を使った埋葬例もある。人骨を土器につめた細葬墓も早い時期に見られ、これは東日本中心で確認される。方形の墳丘の周囲に堀や溝をめぐらしたいわゆる方形周溝墓も各地に散見されるし、弥生時代の後期に至ると西日本中心に以前より規模の大きい墳丘を築いた墓が出現してくる。さらに、九州北部の甕棺墓の例では、30面を超える中国製とおぼしき青銅鏡やそのほかの遺物を副葬した埋葬例も見つかり、このころまでに集団の中に貧富差や身分差が生じていたことをうかがわせる。

集団のあいだでは、豊作を祈願したり収穫の感謝をする神祭りや儀式も行われたようで、それらを推定させる青銅製祭器の存在も確認されている。青銅製祭器の主なものは銅剣・銅矛・銅鐸・銅戈などで、銅剣・銅矛が武器、銅鐸・銅戈はもともとは楽器であったと考えられるが、この時点では既に実用性を放棄した象徴的な祭器に変化しつつある。また、これら青銅製祭器の分布には一般的傾向が認められ、平形銅剣は九州全域、銅矛や銅戈は九州北部、銅鐸は中国地方などに多くみられるが、個人の墓に埋納される例は殆どなく、集団に共通する祭祀の時のみに用いられたものであることが推察されている。

問1 前掲した弥生時代に関連する文章において、下線部(ア)～(リ)の語句には歴史的に正しいものと誤ったものが混在している。ここで、正しい語句を○、誤っているものを×で表記すると、連続する語句(ア)・(イ)、(ウ)・(エ)などの関係は、

- ① ○○ ② ○× ③ ×○ ④ ××

のいずれかになる。

- (1) 連続する下線部の語句(ア)と(イ)の関係について上記の①～④までで解答しなさい。(以下同様)
- (2) (ウ)と(エ)について
- (3) (オ)と(カ)について

- (4) (キ)と(ク)について
- (5) (ケ)と(コ)について
- (6) (サ)と(シ)について
- (7) (ス)と(セ)について
- (8) (ソ)と(タ)について
- (9) (チ)と(ツ)について
- (10) (テ)と(ト)について
- (11) (ナ)と(ニ)について
- (12) (ヌ)と(ネ)について
- (13) (ノ)と(ハ)について
- (14) (ヒ)と(フ)について
- (15) (ヘ)と(ホ)について
- (16) (マ)と(ミ)について
- (17) (ム)と(メ)について
- (18) (モ)と(ヤ)について
- (19) (ユ)と(ヨ)について
- (20) (ラ)と(リ)について

問2 前掲した文章中の下線部(A)～(D)の語句に関連して以下の問いに解答しなさい。

(1) 下線部(A)に関連して。縄文晩期には既に稲作の確認される炭燵遺跡が知られているがそれはどこか。

- ① 福岡県 ② 大分県 ③ 佐賀県 ④ 長崎県 ⑤ 山口県

(2) 下線部(B)に関連して。この文化は何という名称か。

- ① 続縄文文化と貝塚文化 ② 擦文文化と彩文文化
- ③ 続オホーツク文化と擦文文化 ④ 稲作文化と麦作文化
- ⑤ 乙種弥生文化と彩文文化

(3) 下線部(C)に関連して。弥生文化の名称となった土器類が発見された遺跡名は何か。

- ① 本郷城址 ② 東大構内遺跡群 ③ 三四郎池遺跡
④ 大沢・亀高遺跡 ⑤ 向ヶ岡貝塚

(4) 下線部(D)に関連して。3世紀の築造が考えられる箸墓古墳の墳丘長はほぼどのぐらいか。

- ① 120m ② 140m ③ 180m ④ 230m ⑤ 280m

(5) 下線部(D)に関連して。箸墓古墳はどの府県にあるか。

- ① 福岡県 ② 兵庫県 ③ 大阪府 ④ 奈良県
⑤ 和歌山県

2 次の文章について、以下の問いに答えなさい。

鎌倉時代中期以降、(1)の普及にみられるように農業生産力の発展は著しく、それが基礎となって、手工業生産や商業活動も活発となり、それにともなって貨幣経済が浸透して、それまでの政治的・社会的体制に大きな影響を及ぼすことになった。⁽²⁾交通の要地など各地に(a)が開かれるようになり、そうした(a)では手工業品が盛んに取引され、年貢米や特産品も広く流通するようになった。南北朝から室町時代になると、農村の変容は、いちだんとすすみ、荘園や公領の内部に農民が地域的に結合して、いくつかの自然発生的な村が形成され、灌漑用水や山野を管理し鎮守を祭る(b)を中心に(2)とよばれる自治組織をつくり出し、村の秩序を維持するために自検断を行使することもあった。その中心的役割を担ったのは、^{おとな}乙名・沙汰人などと呼ばれる村の指導者としての名主層であり、しばしば(c)⁽³⁾に対して年貢減免や非法の代官の罷免などを要求して一揆を結び、強訴・(d)などの実力を行使して闘った。室町時代になると、地方の(a)もその数と開催日数を増していった。商工業者たちの

同業者団体である(e)もその種類や数を著しく増加していった。市場では、一定の商品を売る(3)の指定が行われ、市場の商人は(c)らに市場税を納めて販売独占権を保証された。また都市では常設の小売店である(4)がしだいに増え、(5)や振売と呼ばれた行商人の数も増加していった。こうした商業の発達は、それまでの年貢や商品の保管・輸送にあたった(6)から口銭をとって売り捌く卸売を営む(7)の発達をうながし、交通路の発達や運送業者の活躍⁽⁴⁾を促進させた。

問1 上記の文章中の空欄(1)～(7)に相当する事柄を下の語句から選びなさい。

- ① 市座 ② 作人 ③ 問屋 ④ 借上
- ⑤ 京上夫 ⑥ 連雀商人 ⑦ 本所 ⑧ 供御人
- ⑨ 惣村 ⑩ 問丸 ⑪ 夫役 ⑫ 二毛作
- ⑬ 二期作 ⑭ 貫高制 ⑮ 見世棚

問2 上記の文章中の空欄(a)～(e)に相当する事柄にもっとも関係の深い文章を下から選びなさい。

- ① 畿内近国での活動が目立ち、仏神の権威に逆らう異類異形として排除された。
- ② 大山崎の油神人は、石清水八幡宮を本所とし、原料である荏胡麻購入の独占権を持っていた。
- ③ 多収稷米である大唐米も多く輸入された。
- ④ 右京と左京に官選で設けられ、市司によって管理された。
- ⑤ 主に近畿以西の荘園・公領において発達し、一味神水による結束の中心となった。
- ⑥ 荘園・公領の中心地や寺社の門前などで特定の日に月に三度くらい開かれるのもめずらしくなくなった。
- ⑦ 荘園から年貢を確保するために守護請を設定することもあった。
- ⑧ 金銭の輸送を手形で代用した。

- ⑨ 耕作を放棄して他領や山林に退去するなどの方法で抵抗した。
- ⑩ 荘民は領主の佃の耕作や年貢運搬の雑役に従事することを課せられた。

問3 上記の文章中の下線部(1)~(4)について、下の各問にそれぞれ1つ答えなさい。

- (1) この時期の「農業生産力の発展」と必ずしも関係の無いものはどれか。
 - ① 米の品種が改良され、早稲・晩稲に加え中稲を作るようになった。
 - ② 麦・桑・楮・荏胡麻などの畑作も行われた。
 - ③ 牛や馬に犁を牽かせることにより、深耕ができるようになった。
 - ④ 刈敷や草木灰が使われるようになった。
 - ⑤ 深耕用の備中鍬や脱穀用の千歯扱が全国的に普及した。

- (2) この時期の「貨幣経済の浸透」ともっとも関係深く且つ正しいものはどれか。
 - ① 中国の貨幣である永楽通宝が輸入されて流通した。
 - ② 遠隔地荘園では年貢が銭納されるようになった。
 - ③ 粗悪な私鑄銭が流通するようになったために撰銭が行われた。
 - ④ 乾坤通宝が鑄造されて流通した。
 - ⑤ 金融機関として土倉が全国各地で営業するようになった。

- (3) この時期の「名主層」にもっとも関係深い事柄はどれか。
 - ① 国人一揆など自立的な地域権力を結成して守護としばしば対立した。
 - ② 「器量の仁」ともいわれた。
 - ③ 村方三役の一つで用水や山野の管理、年貢・諸役の収納にあたった。
 - ④ 有力な者は守護と主従関係を結んで侍身分となるものもいた。
 - ⑤ 預所ともいわれ荘園領主側にたって行動した。

(4) この時期の「運送業者の活躍」としてもっとも関係深く且つ正しい事柄はどれか。

- ① 物資輸送のための廻船は積荷の落下を防止するために両舷に菱組みの格子を付けていた。
- ② 人馬の手配や物資の継ぎ替えなどを行う施設が整備された。
- ③ 馬借は職業がら機動力に富み、土一揆の蜂起の口火を切ることが多かった。
- ④ 交通路近辺の村々では公用交通に人や馬を差し出すことが課せられた。
- ⑤ 関所が各地に設けられたが、物資輸送の障害となったことから撤廃された。

3

問1 次の(ア)~(ク)の出来事は、列強の対日接近について示したものである。これについて、下記の設問に答えなさい。

- | | | |
|-----------|--------------------------------|----------|
| (ア) 1792年 | <input type="text" value="a"/> | 根室に来航 |
| (イ) 1804年 | <input type="text" value="b"/> | 長崎に来航 |
| (ウ) 1808年 | | フェートン号事件 |
| (エ) 1811年 | <input type="text" value="c"/> | 事件 |
| (オ) 1837年 | | モリソン号事件 |
| (カ) 1846年 | <input type="text" value="d"/> | 浦賀に来航 |
| (キ) 1853年 | | ペリー浦賀に来航 |
| (ク) 1853年 | <input type="text" value="e"/> | 長崎に来航 |

(1) 上記の空欄 ～ にもっとも適切な人物を下記の中から選びなさい。

- ① プチャーチン ② ロッシュ ③ ビッドル ④ レザノフ
⑤ プロートン ⑥ ラクスマン ⑦ パークス ⑧ シドッチ
⑨ ゴートン ⑩ グローウニン

(2) 上記の(ア)～(オ)の出来事ともっとも関連する事柄を記したものを下記の文章群①～⑩より選びなさい。

- ① 渡辺崋山が『慎機論』を書いて、幕府の対外政策を批判した。
② 長崎奉行の松平康英はこの出来事の原因を自刃した。
③ 桂川甫周が『北槎聞略』を著した。
④ 新井白石が『西洋紀聞』を著した。
⑤ 高橋景保はこの出来事に関わって投獄され、牢死した。
⑥ 西川如見が『華夷通商考』を著した。
⑦ 『日本幽囚記』は各国で翻訳され、日本に対する新たな知識を提供した。
⑧ ジョセフ=ヒコが通訳として帰国した。
⑨ 海保青陵が『稽古談』を著した。
⑩ 大槻玄沢が『環海異聞』を著した。

問2 次の文章中の空欄 ～ に入るもっとも適切な語を下の語群の中から選びなさい。

幕府は、寛政の改革で朱子学を とし、1797年には官立の を設けて、幕臣の教育機関とした。また、多くの藩では藩士子弟を教育する藩学(藩校)が設立され、民間でも武士や学者、町人によって私塾が開かれた。準官学の扱いを受けた大坂の からは『 』を書いた富永仲基や『 』を書いた山片蟠桃らの学者も生まれた。

庶民の初等教育機関である寺子屋では、日常生活に必要な読み・書き・そ

ろばんなどの教育のほか、道徳も教えられ、明の教育勅諭注釈書をわかりやすく解説した室鳩巢の『』やの『和俗童子訓』をもとに書かれた『女大学』なども使われた。

開国後、幕府は1855年にを独立させて洋学所を建て、蕃書調所と改称して、洋学の教授と外交文書の翻訳などにあたらせた。また、1862年には幕臣の榎本武揚や洋書調所の教官の西周・をオランダに、1866年にはらをイギリスに留学させて欧米諸国の政治・法制・経済を学ばせた。

- ① 石田梅岩 ② 異学 ③ 開成所 ④ 懐徳堂 ⑤ 咸宜園
- ⑥ 貝原益軒 ⑦ 弘道館 ⑧ 稽古談 ⑨ 経済要録 ⑩ 国学
- ⑪ 実語教 ⑫ 昌平坂学問所 ⑬ 出定後語 ⑭ 西洋医学所
- ⑮ 正学 ⑯ 聖教要録 ⑰ 大学校 ⑱ 津田真道
- ⑲ 庭訓往来 ⑳ 適塾 ㉑ 中江兆民 ㉒ 中沢道二
- ㉓ 中村正直 ㉔ 農政本論 ㉕ 蛮書和解御用 ㉖ 福沢諭吉
- ㉗ 夢の代 ㉘ 六論衍義大意

4 歴代内閣(順不同)について述べた以下の文章(A)~(H)について、各設問に答えなさい。

(A) 元外相による戦後処理内閣という性格をもつ。概要は、五大改革指令の実行、憲法草案の作成、戦後初の総選挙の実施などである。^(ア)また、財閥解体指令、^(イ)第一次農地改革を実施し、公職追放令や金融緊急措置令などを公布した。^(ウ)この内閣の時代に極東国際軍事裁判が開廷した。

(B) 立憲政友会内閣として、金融恐慌の処理をなす。また社会主義への弾圧を強めたことでも知られる。治安維持法改正や特別高等課の設置などを指導した。^(エ)積極外交を提唱し、第一次山東出兵などを実行した。第一回普通選挙が実施さ

れたのもこの時期である。最後は張作霖爆殺事件^(オ)で天皇の不興をかい総辞職に追い込まれた。

(C) 自由民主党内閣として成立し、日中国交正常化^(カ)を実現した。首相みずから「日本列島改造」を提唱した。変動為替相場制へ移行したのはこの時期である。インフレの発生と狂乱物価によるマイナス成長で高度経済成長の終焉をもたらした。この間、第四次中東戦争による第一次石油危機が生じている。金脈問題^(キ)により総辞職した。

(D) 民主自由党内閣として政権を運営した第二次から、自由党内閣としての第三、四、五次の安定した保守政権とみなされた。インフレの克服^(ク)や経済安定九原則^(ケ)の実行を指導。この間、朝鮮戦争が勃発し、特需景気に沸くとともに、警察予備隊令を公布し、その4年後の自衛隊発足へとつなげた。また、サンフランシスコ平和条約^(コ)、および日米安全保障条約^(ク)に調印した。

(E) 日本最初の本格的政党内閣として誕生。産業開発と高等教育普及政策を推進。選挙法を改正したが普通選挙制導入には冷淡であった。積極政策により財政的に行きづまった。首相の暗殺により総辞職した。この内閣の間、ヴェルサイユ条約^(カ)が調印され、国際連盟への加盟が実現した。

(F) 自由民主党内閣として成立し、最初の女性大臣を実現させた。三次にわたる。独自のスローガンを提唱^(シ)し、高度経済成長政策を展開した。この間、農業基本法^(シ)を公布した。中華人民共和国との貿易拡大(L T貿易)を取り決め締結した。

(G) 挙国一致内閣という性格を帯びた。日中戦争に不拡大方針をだすものの、軍部の圧力にあい戦争は拡大した。この時期に盧溝橋事件^(ス)が生じた。また日独伊三国防共協定に調印する。国民精神総動員運動実施要項を閣議決定したほか、国家総動員法を公布した。^(セ)

(H) この内閣の首相は緊縮財政と産業合理化を大蔵大臣とともに促進し、金解禁を実施した。恐慌に対しては統制経済で対処しようとした。対外的には外相のリーダーシップによって協調外交を促進し、ロンドン海軍軍縮条約に調印したが、統帥権干犯問題が生じた。

問1 (A)~(H)にあてはまる内閣の首相は誰か。

- | | | | |
|---------|---------|----------|--------|
| ① 岩槻礼次郎 | ② 近衛文麿 | ③ 竹下登 | ④ 犬養毅 |
| ⑤ 福田赳夫 | ⑥ 加藤友三郎 | ⑦ 東久邇宮稔彦 | ⑧ 佐藤栄作 |
| ⑨ 山本権兵衛 | ⑩ 加藤高明 | ⑪ 原敬 | ⑫ 高橋是清 |
| ⑬ 小渕恵三 | ⑭ 芦田均 | ⑮ 細川護熙 | ⑯ 田中義一 |
| ⑰ 浜口雄幸 | ⑱ 宇垣一成 | ⑲ 岡田啓介 | ⑳ 大平正芳 |
| ㉑ 広田弘毅 | ㉒ 田中角栄 | ㉓ 幣原喜重郎 | ㉔ 片山哲 |
| ㉕ 東条英機 | ㉖ 海部俊樹 | ㉗ 鳩山一郎 | ㉘ 岸信介 |
| ㉙ 小泉純一郎 | ㉚ 三木武夫 | ㉛ 斎藤実 | ㉜ 吉田茂 |
| ㉝ 池田勇人 | ㉞ 中曾根康弘 | ㉟ 鈴木善幸 | ㊱ 清浦奎吾 |
| ㊲ 鈴木貫太郎 | ㊳ 小磯国昭 | ㊴ 宮沢喜一 | ㊵ 寺内正毅 |

問2 各文の内閣成立年を年代順にならべたとき、第一と、第五、および最後にくる3つは、次の組み合わせのどれか(3つ並べたときの順序はアルファベット順とする)。

- ① (A)(C)(E) ② (B)(D)(F) ③ (C)(E)(G) ④ (D)(F)(H)

問3 下線部(ア)について、五大改革指令に該当しないものは次のどれか。

- ① 参政権賦与による婦人の解放。
- ② 労働組合の結成制限。
- ③ 教育制度の自由主義的改革。
- ④ 秘密警察など圧政的諸制度の撤廃。
- ⑤ 経済機構の民主化。

問4 下線部(イ)について、最初に解体が指令された財閥は全部でいくつであったか。

- ① 11 ② 13 ③ 15 ④ 17 ⑤ 19

問5 下線部(ウ)について、金融緊急措置令が出された際の目的として該当しないのは次のどれか。

- ① 財政再建 ② 戦時利得吸収 ③ インフレ抑制
④ 通貨量の縮減 ⑤ 貯蓄増大

問6 下線部(エ)について、治安維持法改正の際、国体の変革に関わる活動の指導者に対し付け加えられた項目は何か。

- ① 最高刑としての禁固刑 ② 最高刑としての終身刑
③ 最高刑としての死刑 ④ 共犯者の禁固刑 ⑤ 共犯者の逮捕権

問7 下線部(オ)について、この事件があった地名は次のどれか。

- ① 奉天 ② 哈爾濱 ③ 長春 ④ 北京 ⑤ 平壤

問8 下線部(カ)について、日本政府の決断に先立って、アメリカ合衆国が中国との接近の機運を高めていた。その際のアメリカ大統領は誰か。

- ① アイゼンハウアー ② ケネディ ③ ニクソン ④ フォード
⑤ カーター

問9 下線部(キ)について、当時の首相は米国の企業からの収賄で起訴された。この企業は次のどれか。

- ① フォード ② クライスラー ③ ダグラス ④ ロッキード
⑤ マイクロソフト

問10 下線部(ク)について、九原則にあてはまらないものは次のどれか。

- ① 予算均衡
- ② 徴税緩和
- ③ 資金貸出制限
- ④ 賃金安定
- ⑤ 物価統制

問11 下線部(ケ)について、この条約によって沖縄とともにアメリカ施政権下におかれ信任統治が予定された地域は、次のどれか。

- ① 大隅諸島
- ② 千島諸島
- ③ 小笠原諸島
- ④ 家島諸島
- ⑤ 尖閣諸島

問12 下線部(コ)について、日米安全保障条約について、以下の文章が正しければ①を、誤りがあれば②を選択しなさい。

平和条約と共に日米間に締結された日本の防衛のための条約。米軍の駐留などがとり決められた。期限はなく、アメリカの日本防衛義務が明示されたが、日米対等の条約であった。

問13 下線部(カ)について、この条約を取り決めた講和会議に日本全権として参加したのは誰か。

- ① 西園寺公望
- ② 石井菊次郎
- ③ 西原亀三
- ④ 松岡洋右
- ⑤ 重光葵

問14 下線部(シ)について、この内閣が掲げたスローガンは次のどれか。

- ① 進歩と調和
- ② 儉約と貯金
- ③ 寛容と忍耐
- ④ 成長と躍進
- ⑤ 質実と剛健

問15 下線部(ス)について、盧溝橋はある都市の郊外にあった。それは次のどれか。

- ① 奉天
- ② 哈爾浜
- ③ 長春
- ④ 北京
- ⑤ 平壤

問16 下線部(セ)について、国家総動員法(改正も含む)に基づく勅令として含まれないものは、次のどれか。

- ① 国民徴用令 ② 賃金統制令 ③ 価格等統制令
- ④ 重要産業団体令 ⑤ 教育令

問17 下線部(ソ)について、この大蔵大臣とは誰か。

- ① 渋沢敬三 ② 高橋是清 ③ 大平正芳 ④ 河田烈
- ⑤ 井上準之助

問18 下線部(タ)について、この問題は、政府の軍縮方針を認める条約派と反対の艦隊派の間の対立により生じた。このとき、艦隊派の中心にいた軍令部長は誰か。

- ① 米内光政 ② 岡田啓介 ③ 吉田善吾 ④ 加藤寛治
- ⑤ 大角岑生

